

南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画（静岡市域版）
実行計画 年次報告書（平成27年度）



平成28年10月

静岡市

《目 次》

1	はじめに	1
2	評価指標の状況	2
3	平成27年度の取組内容	3
1	自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）	3
2	調査と教育（学術的研究支援の機能）	8
3	地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）	16
4	理念の継承と管理運営体制の構築 （3つの機能を支える連携機能）	29
4	関連組織の活動状況	31
5	モニタリング実施状況	38
6	実行計画 総合分析	47

1 はじめに

この年次報告書は、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）実行計画」（以下、「実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組を知っていただくために発行するものです。



南アルプス夏山開き



南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター
リニューアルオープンセレモニー

2 評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、4つの基本方針の柱を掲げています。

実行計画では、この柱に基づき実施する事業の評価指標を掲げており、その進捗を次に示します。

基本方針の柱	評価指標・平成30年度目標値	進捗状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
自然環境の保全	南アルプスの自然への関心度 (★) 48% (平成27年度) → 54%	48% —			
	ライチョウが市内に生息している人の割合 (★) 18% (平成27年度) → 24%	18% —			
	南アルプス主要地域の高山植物種数 15種 (平成25年度) → 15種	31種 ○			
調査と教育	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用学校の南アルプスユネスコエコパークの認知度 利用校の約6割が80%以上 (平成27年度) ↓ 全校80%以上	利用校の約6割が80%以上 —			
	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用学校教員のユネスコエコパークの理念の認知度 76% (平成27年度) → 100%	76% —			
	自然体験活動等指導者数 6人/年 (平成27年度) → 10人/年	6人/年 —			
地域の持続的な発展	井川地域を訪れてみたいと思う人の割合 (★) 81% (平成27年度) → 84%	81% —			
	南アルプスに登ってみたいと思う人の割合 (★) 53% (平成27年度) → 56%	53% —			
	井川地域内施設入込客数 160.3千人 (平成25年度) → 168.3千人	137.1千人 ×			
理念の継承と管理運営体制の構築	南アルプスユネスコエコパークの認知度 (★) 51% (平成27年度) → 54%	51% —			

※ ★印は市政アンケートモニターにより4年に1度把握する指標

※ 進捗状況の○印は目標を達成、×印は目標を未達成、—印は27年度が基準年度のため評価しない。

3 平成27年度の取組内容

1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）

（1）南アルプスの自然環境の保全

南アルプスの自然環境の保全を進めるうえでの考え方を示している項目であるため、個別事業は掲載していません。

（2）つながりを意識した一体的な保全

1）連携・協働体制の強化

【組織No.6】南アルプス高山植物等保全対策連絡会 P 32参照

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会 P 33参照

【組織No.9】南アルプス世界自然遺産登録推進協議会 P 33参照

2）来訪者のルール作りと啓発活動の推進

【事業No.18】静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業

① ホームページによる啓発

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

ホームページの作成に当たっては、利用者の利便性を高めるため、条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等にリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにした。

URL : http://www.city.shizuoka.jp/136_000008.html

② 現地への標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道標識を条例の啓発事項を加えた標識に付け替え（18箇所）、条例の普及啓発を図った。

全ての車両について通行の許可が必要な林道東俣線については、許可が必要な旨と条例で禁止されている行為に関する情報を、その他の林道については、条例で禁止されている行為に関する情報を記載し、啓発を行った。



林道標識

[条例の適用を受ける林道]

小河内川線、所沢線、中野線、信濃俣線、井川雨畑線、明神谷線、関之沢線、大島沢線、アツラ沢線、梅沢線、穴沢線、大久保沢線、東河内線、勘行峰線、田代線、東俣線、栗尾峰線、瀬戸坂線

【組織No.9】南アルプス世界自然遺産登録推進協議会（再掲）

(3) 高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

1) 高山植物の保護に向けた取組の推進

【事業No.13】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の設置を行った。

[平成27年度設置場所]

- ・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）
約108㎡（累計 約189㎡）
- ・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）
約784㎡（累計 約6,667㎡）



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

② 高山植物保護セミナーの開催

高山植物保護に取り組む人材の育成、環境保護意識の向上のため、登山部を持つ市内高等学校を対象に、ニホンジカによる高山植物への食害を学ぶとともに、その対策となる防鹿柵を設置するセミナーを開催している。

平成27年度は、台風等の影響により、現地での活動を行わず、南アルプスや高山植物、ニホンジカの食害対策に関する座学を実施した。

[セミナー概要]

開催日：平成27年8月25日（火）

場所：県立静岡高等学校1階会議室

参加者数：3校23人

内容：講義1「南アルプスの自然 なぜ高山植物を守らなければいけないのか」

講義2「南アルプスのニホンジカ 生態系保全のためのシカ管理」



高山植物保護セミナー

[過去の開催状況]

平成26年度 5校28人参加（2泊3日）

平成25年度 3校16人参加（2泊3日）

【組織No.6】南アルプス高山植物等保全対策連絡会（再掲）

2) ライチョウの保護に向けた取組の推進

【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① ライチョウの生息状況把握調査

環境省が策定したライチョウ保護増殖事業計画（以下、「増殖計画」）では、ライチョウの生息環境を圧迫している推定要因がいくつか挙げられているが、その要因の特定は現時点で困難とされている。また、増殖計画では、今後の調査分析により、その要因を明らかにすることが目標のひとつとされていることから、調査期間内における生息地の実態把握を調査範囲とし、ライチョウ生息・繁殖状況の現地調査及び生息環境圧迫要因調査として、ライチョウを捕食している可能性がある生き物に係る文献調査や現地調査による生息状況調査を行った。

調査結果の概要については、P38「5（2）モニタリングの概要」を参照

② 普及啓発事業

ア) ライチョウ会議静岡大会の開催

ライチョウの研究者等で組織するライチョウ会議の全国大会を静岡市で開催し、ライチョウ保護の普及啓発を図った。

[開催概要]

開催日：平成27年10月24日（土）～25日（日）

会場：しずぎんホール「ユーフォニア」

参加者数：公開シンポジウム（24日） 340人

専門家会議（25日） 166人



ライチョウ会議

イ) パネル展等の実施

ライチョウの普及啓発を図るため、パネル展やフェイスブックによる情報の発信等を実施した。

[ライチョウ写真展示]

開催日：平成27年6月9日（火）～7月20日（日）

会場：静岡市立中央図書館

[ライチョウ企画展 第一弾]

開催日：平成27年10月1日（木）～16日（金）

会場：日本平動物園（ビジターセンター内）

[ライチョウ企画展 第二弾]

開催日：平成27年10月18日（日）～25日（日）



ライチョウ企画展

会 場：静岡科学館る・く・る

来場者数：1,805人

[ライチョウワークショップの開催] ※ライチョウ企画展と同時開催

開 催 日：平成27年10月24日（土）

会 場：静岡科学館る・く・る

来場者数：309人

[パネル展示]

開 催 日：平成28年1月12日（火）～15日（金）

会 場：静岡市役所新館1階

[ライチョウって知ってる？（フェイスブック投稿）]

投稿回数：5回

3) 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施

【事業No.10】南アルプス環境調査

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の工事实施にあたり、環境変化を把握するため、南アルプスユネスコエコパーク登録地域及びその周辺地域において現在の自然環境の状況等を調査し、その結果を公表した。

調査結果の概要については、P38「5（2）モニタリングの概要」を参照

[調査項目]

大気質、騒音・振動、水質、動植物、植生、景観

[調査結果公表HP]

http://www.city.shizuoka.jp/041_000081.html

【事業No.13】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.6】南アルプス高山植物等保全対策連絡会（再掲）

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

【組織No.8】静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会

P33参照

4) 自然景観への配慮

【事業No.10】南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.13】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.4】静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

P32参照

5) 新たな開発等への対応

【事業No.10】 南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.18】 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業（再掲）

【事業No.19】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理

① 林道管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づき、南アルプスユネスコエコパーク地域内の林道18路線を適正に管理する目的で、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状況を点検するためのパトロール業務を実施した。

② ゲート管理

全ての車両について静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づく通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、起点ゲートにおける通行車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）、冬期閉鎖期間中のゲートの施錠の点検等を実施した。



林道東俣線起点ゲート

また、夜間や冬期閉鎖期間のゲート管理を徹底するため、ゲートに施設管理用カメラを設置し、平成28年3月24日から運用を開始した。

【組織No.2】 静岡県中央新幹線工事調整連絡会

P31参照

【組織No.3】 静岡市中央新幹線整備対策本部

P31参照

【組織No.4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会（再掲）

【組織No.5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議（再掲）

2 調査と教育（学術的研究支援の機能）

（1）自然や文化を学び、心を育てる環境整備

1）南アルプス教育の推進

【事業No.14】ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.17】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

- ・ 南アルプスユネスコエコパークの魅力を発信するためのプロモーションビデオと小中学生を主な対象に、世界が認めた南アルプスと井川地域の自然、歴史、伝統文化等への理解や環境意識を深め、ユネスコエコパークの理念である「人と自然の共生」を伝える教育ビデオを制作した。
- ・ 子どもたちをはじめ、広く一般市民にライチョウへの興味・関心を持ってもらうため、ライチョウ親子模型を製作するとともに、ライチョウの生態等を解説するパネルを作成した。
- ・ 子どもたちをはじめ、広く一般市民に南アルプスや井川地域への興味・関心を持ってもらうため、南アルプス・井川地域ジオラマ及びデカマップを製作した。



ライチョウ親子模型・パネル



南アルプス・井川地域ジオラマ

【事業No.21】南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業

① ガイド養成講座の開催

井川地域住民に地域の魅力を再認識してもらうとともに、ガイド事業において必要な知識を習得してもらうため、自然散策、まち歩きに関する講座を開催した。

[全体説明会]

開催日：平成27年6月30日（火）

内 容：講演「エコパークとともに歩む」

講座の年間スケジュール等の説明

[まち歩きガイド養成講座]

第1回	井川地区の魅力とベストなコース選び	平成27年9月5日（土）
第2回	コースタイム計測及びポイントの把握	平成27年9月27日（日）
第3回	井川地区案内練習（1回目）	平成27年10月10日（土）
第4回	井川地区案内練習（2回目）	平成27年10月31日（土）
第5回	井川まち歩きテストツアーの実施	平成27年11月15日（日）

[ネイチャーガイド養成講座]

第1回	南アルプスの地質（褶曲構造）について	平成27年9月1日（火）
-----	--------------------	--------------

第2回 赤崩れの見学と石の分類について

平成27年10月27日（火）

第3回 講座のおさらい

平成28年1月12日（火）

② モデルコースの作成

まち歩きガイド養成講座において、まち歩きのモデルコースを作成した。

[モデルコース]

井川堰堤渡船場 → 井川本村渡船場 → ふれあい通り → お井戸 → 子安観音菩薩 → 橋場地蔵尊 → 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター（昼食） → 中野観音堂 → 井川神社 → 竜泉院 → 井川大仏 → 夢の吊橋 → 廃線小路 → 井川ダム駐車場

※井川堰堤渡船場と井川本村渡船場の間は井川湖渡船を利用

③ パンフレットの作成

利用者の増加を図るため、まち歩きガイド及びモデルコースを紹介するパンフレットを作成し、南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター等の施設に配置した。

④ まち歩きツアーの開催

第5回まち歩きガイド養成講座時に8名を招いたテストツアーを実施し、平成27年11月28日（土）にまち歩きガイド主催で実施

【事業No.37】 自然体験活動指導者育成講座

自然体験活動を推進できる人材を育成するため、自然の家にて各種講習会を開催し、受講者を自然体験活動指導者として認定した。

[講座内容]

- ・南アルプスユネスコエコパーク学習会
- ・救急救命講習
- ・ネイチャーゲーム、ガイドハイク、ナイトハイク、自炊活動、テント張り
- ・活動プログラムの立案 等



ガイドハイク

【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家を中心とした地域資源の魅力を伝えるため、小中学生や家族を対象とした各種イベントを開催した。

① 小中学生対象

[トム・ソーヤスプリングキャンプ]

開催日：平成27年5月16日（土）～17日（日）

募集人数：72人

応募者数：128人（応募率：178%）

[トム・ソーヤサマーキャンプ]

開催日：平成27年8月10日（月）～13日（木）

募集人数：36人

応募者数：55人（応募率：153%）



トム・ソーヤサマーキャンプ

[トム・ソーヤ寺子屋キャンプ]

開催日：平成27年8月20日（木）～23日（日）

募集人数：36人

応募者数：24人（応募率：67%）

[トム・ソーヤオータムキャンプ①]

開催日：平成27年10月3日（土）～4日（日）

募集人数72人、応募者96人応募率：133%

[トム・ソーヤオータムキャンプ②]

開催日：平成27年10月17日（土）～18日（日）

募集人数：36人

応募者数：59人（応募率：164%）

[トム・ソーヤスキーキャンプ1月]

開催日：平成28年1月9日（土）～11日（日）

募集人数：40人

応募者数：66人（応募率：165%）



トム・ソーヤスキーキャンプ

[トム・ソーヤウインターキャンプ]

開催日：平成28年2月13日（土）～14日（日）

募集人数：60人

応募者数：170人（応募率：283%）

[トム・ソーヤスキーキャンプ2月]

開催日：平成28年2月20日（土）～21日（日）

募集人数：40人

応募者数：50人（応募率：125%）

② 家族・グループ対象

[井川de山菜グルメ]

開催日：平成27年4月25日（土）～26日（日）

募集組数：14組

応募組数：18組（応募率：129%）



井川de山菜グルメ

[井川deバーベキュー]

開催日：平成27年5月2日（土）～3日（日）

募集組数：14組

応募組数：23組（応募率：164%）

[井川deキャンプ入門]

開催日：平成27年7月19日（日）～20日（月・祝）

募集組数：14組
応募組数：23組（応募率：164%）

[井川deてしゃまんくまつり]

開催日：平成27年9月12日（土）～13日（日）
募集組数：14組
応募組数：14組（応募率：100%）

[井川de紅葉狩り]

開催日：平成27年10月31日（土）～11月1日（日）
募集組数：14組
応募組数：4組（応募率：29%）

[井川deクラフト]

開催日：平成27年11月7日（土）～8日（日）
募集組数：10組
応募組数：9組（応募率：90%）

[井川deクリスマス]

開催日：平成27年12月12日（土）～13日（日）
募集組数：10組
応募組数：8組（応募率：80%）

[井川de門松&もちつき]

開催日：平成27年12月19日（土）～20日（日）
募集組数：14組
応募組数：9組（応募率：64%）

[井川de雪遊び]

開催日：平成28年1月23日（土）～24日（日）
募集組数：14組
応募組数：6組（応募率：43%）



井川de門松&もちつき

【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供

南アルプスユネスコエコパークの大自然の中で、自然の素晴らしさを感じさせるとともに、学校目標や、クラス目標の達成のために、井川自然の家と学校で協力し事業を実施した。

小中学校の野外活動、宿泊訓練を受け入れ、地域資源を活用した体験プログラム等を提供した。

① 南アルプスユネスコエコパーク学習会

講師又は所員が、学校や主催事業で学習会を10回実施した。また、利用学校には入所のあいさつで南アルプスユネスコエコパークについての話をした。

② 命をいただく学習（あまごの串焼き体験）

主に小中学校のプログラムとして実施した。また、アマゴをさばく前に所員に

よる命をいただく話をした。

③ エコクッキング

利用学校に対して炊飯活動前に節水や自然保護などの話をした。

④ ウォークラリー、ハイキング、ナイトハイク等

利用学校との事前打ち合わせなどで、クラス目標や自然体験目標等をどのようにするか提案を行った。また、ハイキングコース利用時は、指導者や引率者に下見をさせ安全確認を行うよう指導した。

【事業No.42】社会科副読本との連携

平成27年度中に平成28年度版小学校社会科副読本改訂委員会を開催（年4回）し、内容検討、執筆を行った。平成28年度版から、オクシズ及び南アルプスユネスコエコパークに関する内容を新規掲載し、発行した。

2) 体験教育（修学旅行等）や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立

【事業No.5】静岡型体験観光推進事業

① 教育旅行誘致活動

台湾の教育旅行関係者を対象とした説明会や、首都圏などの学校訪問による誘致活動を官民連携のもと実施した。

② 体験プログラムの開発

静岡市街地から井川地域も含めた新しい静岡型体験旅行プログラムを開発し、それらを掲載した冊子を作成した。

【事業No.39】学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供（再掲）

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動

① パンフレット作成

パンフレットを25,000部作成し、市内小中学校、高等学校、生涯学習施設、東京事務所、主催事業参加者、施設利用校等へ配布した。



井川自然の家 本館2階ロビー

② ポスター作成

ポスターを2,000部作成し、市内小中学校、静岡鉄道（駅広告、電車、バス内広告）等へ配架した。

③ リピーター獲得のPR

利用者に対して井川自然の家の年間事業の案内などを配布し、リピーターとして次回も使用してもらえるよう声掛けをした。

④ 静岡観光大商談会in東京参加

首都圏旅行会社に対して井川自然の家のPRを実施し、県外への情報発信を行った。

⑤ しずおか体験教育旅行同行

愛知県の学校18校を訪問し井川自然の家のPRを実施した。

⑥ 名称変更に伴う看板のリニューアル

看板修繕を行い、井川湖御幸線通行車両に対して、井川自然の家がリニューアルしたことをPRした。

3) 教育拠点の整備・充実と効果的な活用

【事業No.12】 静岡市次世代エネルギーパーク

① 普及啓発

各種広報媒体を活用して静岡市次世代エネルギーパークを広報し、次世代エネルギーに関する普及啓発を行った。



白樺荘 木質バイオマスボイラー

② 活用推進

- ・南アルプスエコパーク周遊ゾーンにおけるおすすめモデルコースを策定した。
- ・静岡次世代エネルギーパークパンフレットを作成した。
- ・ホームページの充実を図った。

【南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設】

- ・静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」（バイオマス熱利用）
- ・中部電力井川展示館（水力発電）
- ・井川発電所／井川ダム（水力発電）
- ・畑薙第一発電所／畑薙第一ダム（水力発電）

【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用

南アルプスの自然や井川地域の歴史、伝統文化、暮らしを来訪者に伝える展示物を設置するなど、南アルプスユネスコエコパークの拠点施設である南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの改修を実施した。

また、平成28年3月29日（火）にはリニューアルオープンセレモニーを実施した。

[施設整備内容]

- ・室内展示物の整備
- ・遊歩道・展望デッキ・駐車場舗装の整備
- ・公衆無線LAN設備（2か所）の設置
- ・情報カメラの設置
- ・案内看板及び標識の整備
- ・バスターミナル設置
- ・街路灯設置
- ・浄化槽修繕



南アルプスユネスコエコパーク
井川ビジターセンター

【事業No.41】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家多目的ホール改修事業

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の多目的ホール（旧中央体育館井川分館）の屋根の全面改修を7月に着手し、12月に完成した。

(2) モニタリングの実施と情報の集約

1) モニタリングの実施

【事業No.7】井川地域における食文化調査事業

① 現地調査

専門家による井川地域の在来作物調査を実施するとともに、現地での聞き取り調査や在来作物等の栽培から加工までを記録した。長年雑穀の栽培を続けてきたお年寄りから栽培方法の指導を得て、技術の習得に努めた。また、かつて栽培者が0になり、静岡大学農学部の協力の元復活させた作物（ケビエ）を、今年度も安定的に栽培することができた。

調査結果の概要については、P42「5（2）モニタリングの概要」を参照

② 報告書等の作成

専門家の調査をもとに報告書を作成した。また、地域住民とともに活用方法を検討し住民の意見を取り入れるなど、地域住民主体による調査成果の活用を促進した。

【事業No.8】井川地域の雑穀文化保存活用事業

雑穀品種（10品種）を保存し、栽培・加工技術を継承するため、地元保存団体と連携し、雑穀品種の栽培から加工について市民との交流事業を実施した。特に、移住者などの雑穀栽培の若手継承者からは、加工品の開発に対する意識が高いことが伺えた。

また、昨年度開発した「コウボウキビのショートブレッド」、お年寄りから伝授され復活した「ソバまんじゅう」などを4～11月まで「縁側カフェ」（毎週日曜実施）などのイベントで参加者に提供するなどして活用した。

【事業No.10】 南アルプス環境調査（再掲）

【事業No.13】 高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.14】 ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No. 8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会（再掲）

2) 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築

【組織No. 9】 南アルプス世界自然遺産登録推進協議会（再掲）

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会

P 37参照

3) 自然や文化に関わる情報の集約と活用

【事業No. 7】 井川地域における食文化調査事業（再掲）

【事業No. 8】 井川地域の雑穀文化保存活用事業（再掲）

【組織No. 8】 静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会（再掲）

3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）

（1）地域の魅力の磨き上げと地域振興

1）地域資源のブランド化と販路開拓の支援

【事業No.4】 葵区魅力づくり事業 ―地域住民の自立促進事業―

地域住民が自主的かつ主体的に実施する地域プロモーションについて、地域住民に協力する団体の参画を促進し、住民主体のまちづくりを推進した。

① 地域の文化・歴史・自然等の資源や特色を活かしたイベントの協働実施

地域住民が主体的に実施している地域プロモーションを協働で実施、支援することで、地域住民活動の活性化を図った。

【山とまち区民交流事業「井川山伏トレッキング」】

開催日：平成27年8月9日（日）

参加者数：75人 地域参画団体：5団体

【山とまち区民交流事業「大日古道トレッキング」】

開催日：平成27年11月29日（日）

参加者数：63人 地域参画団体：4団体



井川山伏トレッキング

② 地域イベント参加促進事業「葵トラベラー」の実施

地域住民が主体的に実施している地域プロモーションに、葵区が参加者を募るなどの支援をし、地域住民活動の活性化を図った。

【葵トラベラー井川編「春の廃線小路」】

開催日：平成27年5月4日（月・祝）

参加者数：75人 地域参画団体：3団体

【葵トラベラー井川編「畑薙ノルディック&赤石温泉まつり」】

開催日：平成27年10月10日（土）

参加者数：25人 地域参画団体：3団体

【葵トラベラー「もみじノルディック」】

開催日：平成27年10月31日（土）

参加者数：25人 地域参画団体：4団体



春の廃線小路

【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業

在来作物活用協議会を開催するとともに、在来作物ロゴマークの作成や在来作物活用商品のミラノ万博への出典を行った。



在来作物ロゴマーク

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業

① 地域おこし協力隊募集に関する事業

平成27年10月から井川地区において3名募集したところ、9名の応募があり、

2名を採用した。

② 地域おこし協力隊用住宅整備事業

地域おこし協力隊用住居の確保及び、住宅修繕事業（3戸）を実施した。

③ 地域おこし協力隊の配置

井川地区に対し、平成28年2月1日に2名配置した。

④ 地域おこし協力隊支援事業補助金

地域おこし協力隊の活動を支援する団体に対し、補助金を交付した。

【事業No.27】 おらんとこのこれ一番事業

「静岡市おらんとこのこれ一番事業補助金」により、地域資源を活用した振興事業を計画、実行する住民団体に対して補助金を交付し、地域住民自らが組織した団体が地域独自の資源を活用して行う活性化活動を支援した。

【実績】

- ・両河内地区 清水・両河内ファームリゾートづくりプロジェクト
- ・清沢地区 清沢式 食と花のむらづくり事業
- ・玉川地区 食でつながるコミュニティー IN 玉川

2) 地域資源を活かした新たなプログラム・コースの開発

【事業No.5】 静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.16】 静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

南アルプス・井川地域の自然、歴史、伝統文化など、当該地域に潜在している魅力を掘り起こし、F1世代と呼ばれる20歳から34歳までの女性（F1層）をターゲットに広く情報発信した。

① ホームページによる情報発信（SNSの活用）

南アルプス情報発信サイト“南アルプスde深呼吸「南プス」”を開設し、井川地域の施設情報や暮らしの魅力などを発信した。

U R L : <http://nanpusu.jp/index.html>

運営期間：平成27年7月16日～平成28年3月31日

閲覧数：63,601PV（ページビュー）



② 井川地域の魅力発見

ア) 女子旅レポート

女性モデルによる体験取材を行い、取材の様子を「女子旅レポート」として「南プス」に掲載した。

取材回数：6回（6コース、22本の動画を公開）

U R L : <http://nanpusu.jp/report/index.html>

イ) 里山の人々

井川地域の魅力的な人物取材し、「里山の人々」として「南プス」に掲載した。

紹介人数：19人

U R L : <http://nanpusu.jp/people/index.html>

③ 南アルプスユネスコエコパークのイメージソングによる普及啓発

静岡県内出身の歌手「yosu」によりイメージソングを制作し、HPや各種イベントにて活用した。

ア) 歌唱披露

南アルプス夏山開き（安全祈願祭） 平成27年7月16日（木）

ライチョウ会議 平成27年10月24日（土）

ビジターセンターリニューアル式典 平成28年3月29日（火）

イ) 静岡市役所エレベーター等にて放送

放送期間：平成27年9月～平成28年3月

放送場所：静岡庁舎（始業前全館放送、新館エレベーター）

清水庁舎（昼食時庁内放送）

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業

① 吊橋及び新規ルート整備

- ・吊橋架橋（樫島～千枚岳ルート上）に係る地質調査・測量業務を実施した。
- ・新規登山道ルートの調査を実施した。

② 既存登山道の整備

- ・崩落箇所等の登山道危険箇所の修繕を実施した。

【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業（再掲）

【事業No.40】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動（再掲）

3) 積極的な情報発信

【事業No.1】 移住希望者向け情報発信事業

① 移住支援センターを中心とした首都圏プロモーション

センターに相談員を常駐させるとともに、移住相談会等を開催し、移住希望者へ移住情報を発信した。

相談件数：462組

相談人数：595人



移住支援センター

② ホームページによる情報発信

静岡市の移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」により移住情報や本市の魅力を発信し、移住を促進した。

URL：<http://shizuoka-seikatsu.jp/>



移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」

③ パンフレットの作成・配布

移住に関する情報を掲載したパンフレットを作成し、配布した。

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 南アルプスユネスコエコパーク構成市町村との連携による情報発信

ア) 構成市町村の関連イベントへのパンフレット提供

[南アルプス完熟農園グランドオープン]

開催日：平成27年6月12日（金）

場 所：山梨県南アルプス市

[古民家カフェ 鍵屋オープン]

開催日：平成27年10月25日（日）

場 所：山梨県早川町

[大鹿村産業文化祭]

開催日：平成27年11月1日（日）

場 所：長野県大鹿村

[川根本町産業祭]

開催日：平成27年11月1日（日）

場 所：川根本町

[川根本町ふるさと祭]

開催日：平成27年11月7日（土）

場 所：川根本町

[第27回北杜市甲斐駒の里名水まつり]

開催日：平成27年11月8日（日）

場 所：山梨県北杜市

[接岨湖もみじ祭]

開催日：平成27年11月14日（土）

場 所：川根本町

イ) 大井川鐵道きかんしゃトーマス運行イベントへのブース出展

開催日：平成27年4月28日（火）、
7月28日（火）、8月5日（水）、
8月14日（金）、8月28日（金）
会 場：川根本町



きかんしゃトーマス運行イベント

② 市内・県内における情報発信

ア) 広報しずおか「静岡気分」への情報掲載

掲載号：5月号
内 容：ライチョウを知ろう

イ) 静岡まつり こども城下町へのブース出展

開催日：平成27年4月4日（土）
会 場：駿府城公園



ウ) 南アルプスユネスコエコパーク啓発イベント

開催日：平成27年7月13日（月）
会 場：青葉シンボルロード

南アルプスユネスコエコパーク啓発イベント

エ) 登山用品店との連携による南アルプスの魅力発信（南アルプス写真パネル展）

開催日・会場：平成27年8月1日（土）～16日（日）
好日山荘静岡パルコ店
平成27年8月17日（月）～31日（月）
石井スポーツ松坂屋静岡店

オ) IAIスタジアム日本平の大型ビジョンを活用した情報発信

開催日：平成27年9月26日（土）
会 場：IAIスタジアム日本平（清水日本平運動公園球技場）
来場者数：13,053人

カ) 新東名静岡SA「オクシズ祭」へのブース出展

開催日：平成27年10月24日（土）～25日（日） オープニングイベント
平成27年11月21日（土）～23日（月・祝） クロージングイベント
会 場：新東名高速道路 静岡SA

キ) フェイスブックを活用した南アルプスの魅力発信

全6回（8～9月実施）

ク) 南アルプスユネスコエコパークロゴマークの活用

- ・職員名刺への活用
- ・PRポロシャツの作成及び着用
- ・フリーペーパーへの継続掲載
- ・登山タクシーへのロゴマークの活用



PRポロシャツ

ケ) 南アルプスユネスコエコパーク地域特派員の派遣

- ・オクシズHP、市Facebook等により地域の魅力を発信した。 全21回

- ・ユネスコエコパーク拠点施設等でのエコパーク理念普及活動を実施した。
- ・南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家において「ユネスコエコパーク学習会」を開催した。 全9回
- ・ユネスコエコパーク拠点施設のPR展示管理を行った。
- ・いかわね新聞（組織No.7南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会実施事業）編集部会へ参画した。
全活動日数 延べ135日



いかわね新聞

③ 海外向けの情報発信

- ・静岡市の自然と環境学習ウェブサイト「しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう」における南アルプスユネスコエコパーク紹介ページの多言語化を実施した。
- ・環境学習ハンドブック「南アルプスの大自然」の英語版を発行した。

【事業No.16】 静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.25】 オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業（再掲）

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

4) 地域資源の持続可能な利用

【事業No.9】 中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業

太陽光や風力などの自然エネルギーが豊富な里地里山（中山間）地域を対象に、詳細な賦存量調査や導入設備、導入手法などの検討を行い、地域に即した導入モデルを構築した。

〔平成27年度スケジュール〕

- | | |
|---------|---|
| 8月 | 住民説明会の開催（葵区1回、清水区1回開催）
モデル地区の選定（3地区） |
| 9月 | 住民との打合せ実施（1回目） |
| 10月～11月 | 賦存量調査、導入設備の検討、資金調達及び推進体制の検討 |
| 11月～3月 | 住民との打合せ実施（適宜） |
| 3月 | まちづくりモデルの策定 |

【事業No.11】 静岡市森林環境アドプト事業

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の

吸収に必要な森林の整備を行うとともに、井川地区における森林整備の検討を行った。

[森林整備実績]

平成23～26年度	葵区俵峰地区	32.1ha
平成27年度	清水区河内地区	17.6ha

② 森林環境アドプト企業認定証授与式の開催

参加企業に静岡市森林環境アドプト実行委員会から「静岡市森林環境アドプト企業認定書」を授与し、静岡市長から感謝状を贈呈した。

開催日：平成27年11月2日（月）

会 場：静岡市役所

③ しんきんビジネスマッチング静岡2015への参加

出展ブースにてパネル等を展示し、静岡市森林環境アドプト事業をPRした。

開催日：平成27年10月14日（水）

会 場：ツインメッセ静岡

【事業No.24】 野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲事業等を行った。

① 農林業者等への助成（防除事業）

個別型	：129件	7,974千円	28.54ha	
団体型	：49件	11,045千円	24.33ha	
地域一体型	：6件	28,058千円	67.70ha	
合 計	：184件	47,077千円	120.57ha	※全市実績

② 有害鳥獣捕獲事業（全市）

	捕獲実績数	報償金額	
ニホンザル	：242頭	7,260千円	
ニホンジカ	：619頭	12,380千円	
イノシシ	：1,019頭	15,285千円	
カラス	：446羽	223千円	
アライグマ	：58頭	290千円	
ハクビシン	：131頭	655千円	
合 計	：2,515頭	36,093千円	※全市実績

【事業No.28】 林業担い手育成対策事業

林業労働災害の発生防止等を支援するため、各種補助金を交付した。

① 林業労働安全衛生対策事業補助金

労働災害防止等の就労環境改善に必要な経費を助成した。

② 林業労務者振動病対策事業補助金

林業、製材業関係者が振動機械の使用による障害の予防対策の一環として実施する特殊健康診断に対する経費を助成した。

(2) 将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

1) 地域資源をつなげる人材の育成

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

2) 地域の担い手育成

【事業No. 1】 移住希望者向け情報発信事業（再掲）

【事業No. 7】 井川地域における食文化調査事業（再掲）

【事業No. 8】 井川地域の雑穀文化保存活用事業（再掲）

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

【事業No.23】 中山間地移住促進事業

① 空き家情報の発信

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報を発信した。

URL : <http://www.okushizuoka.jp/live/article/000689.html>

[利用実績] 5件

梅ヶ島地区 2件 平成27年5月、12月契約

大川地区 1件 平成27年12月契約

清沢地区 1件 平成27年7月契約

玉川地区 1件 平成28年度契約予定

※平成28年3月31日現在登録件数 8件

② 移住者支援

ア) 中山間地域移住者用住宅改修事業補助金

空き家情報バンクに掲載されている賃貸住宅の改修にかかる経費に対し、補助金を交付した。

[交付実績] 2件

清沢地区 平成27年 8月交付 100万円

梅ヶ島地区 平成28年 2月交付 100万円

イ) 中山間地域移住報奨金

移住後6月以上の居住実績があり、交付後5年間の生活の様子を情報発信し、市の実施する移住促進事業に協力する者に「移住報奨金」を交付する。

【交付実績】 0件

平成28年3月までに6月以上居住実績のある者がおらず、対象者なし。

③ 受入地域支援

地域が実施する移住促進活動にかかる経費に対し、移住促進事業補助金を交付した。

【交付実績】 2件

大川地区 50万円

移住体験ツアー2回実施、移住促進フェア2回出展、移住促進ポスター作製、イベント時使用の法被作成

玉川地区 50万円

移住体験ツアー1回実施、移住希望者向けHP作成

【事業No.26】 地域おこし協力隊配置事業（再掲）

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会（再掲）

3) 交流人口の増加

【事業No.3】 井川湖畔遊歩道草刈業務（遊歩道維持管理業務）

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、遊歩道の草刈り等の維持管理を行った。

・遊歩道草刈り 7月24日、8月28日、10月8日の3回実施

・遊歩道巡回（ゴミ拾い、折れ枝等撤去） 11回実施

・遊歩道パンフレットの補充（残数を確認し、常時対応）



井川湖畔遊歩道

【事業No.5】 静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.15】 普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用（再掲）

【事業No.30】 静岡市道路休憩施設

既存の観光・地域振興施設と連携を図り、道路利用者へ駐車場とトイレを提供す

ることで、道路利用者の安全性及び利便性を向上させることを目的に静岡市道路休憩施設を設置している。

① 静岡市道路休憩施設登録箇所への案内看板

- ・案内看板等の適切な維持管理のため台帳作成を実施した。
- ・平成26年度末までに20箇所を登録し、案内看板を設置した。
- ・案内看板は1施設につき、直近1箇所、予告4箇所を標準とする。



道路休憩施設登録箇所への案内看板

② 広報活動

- ・「政令市移行10年 静岡市のみちづくりの取組」リーフレットを作成し、配布した。
- ・オクシズドライブマップを更新（平成27年6月）し、1万部を増刷し、広報活動を実施した。

【静岡市の『みち』シンポジウム】

開催日：平成27年10月10日（土）

【新東名静岡SA「オクシズ祭」】

開催日：平成27年10月24日（土）～25日（日）

オープニングイベント

平成27年11月21日（土）～23日（月・祝）

クロージングイベント

【日本橋『日本百街道』展2015】（東京都中央区日本橋）

開催日：平成27年10月23日（金）～11月30日（月）

【その他】

道路計画課、中山間地振興課、各静岡市道路休憩施設（有人）、各区役所1階総合案内、静岡市近郊の道の駅等にて配布



オクシズドライブマップ

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動（再掲）

【事業No.41】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家多目的ホール改修事業（再掲）

【組織No.1】大井川流域振興連絡会

P31参照

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

【組織No.9】南アルプス世界自然遺産登録推進協議会（再掲）

4) 観光地としてのレベルアップ

【事業No.21】南アルプスユネスコエコパークガイド養成事業（再掲）

【事業No.25】オクシズ在来作物活用事業（再掲）

【事業No.30】静岡市道路休憩施設（再掲）

5) 交通アクセスの向上

【事業No. 2】井川湖渡船運航業務

① 渡船運行

[実績]

年間運航回数：1,049回

年間乗客数：3,092人



井川湖渡船

② 渡船関係施設の維持管理

- ・湖水面の上昇、下降に伴う栈橋の移動及び乗場の流木、ゴミ、土砂等の撤去を実施した。
- ・井川本村乗場の歩道整備及び草刈り、宮向乗場の階段及び歩道整備を実施した。
- ・渡し板修理、係留ロープ交換を実施した。

【事業No. 3】井川湖畔遊歩道草刈業務（遊歩道維持管理業務）（再掲）

【事業No.19】南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理（再掲）

【事業No.22】南アルプス周辺登山道整備事業（再掲）

【事業No.29】井川地区自主運行バス運行事業

住民の移動手段の確保及び学童輸送や観光客にも対応した自主運行バスを運行した。

[観光客対応]

7、8、10、11月の土曜、日曜、祝日の運行ダイヤを増便した。

[地域への対応]

自主運行バスとスクールバスの統合により、井川地域内の運行ダイヤを充実させた。

[運行ルート]

静岡市葵区横沢～南アルプス赤石温泉白樺荘



井川地区自主運行バス

【事業No.30】 静岡市道路休憩施設（再掲）

【事業No.31】 道路トンネル補修事業

地域住民、来訪者の安心・安全を確保し、交通アクセスの向上を図るため、トンネル点検による要補修箇所への補修を実施した。

① トンネル補修工事の実施

トンネル定期点検によって補修が必要と診断されたトンネルの補修事業を実施した（繰越工事）。

補修トンネル：（主）南アルプス公園線 田代第6号トンネル

② トンネル定期点検の実施

点検トンネル：（主）南アルプス公園線 大網トンネル

【事業No.32】 道路自然災害防除事業（法面）

道路防災点検によって緊急・早期に法面对策が必要と評価された箇所の内、緊急輸送路上の要対策箇所について事業を優先的に実施したため、南アルプスユネスコエコパーク内での事業実績はなかった。

未対策23箇所の内、南アルプスユネスコエコパーク内の道路については、今後4箇所の測量・設計、用地測量、用地買収・補償、対策工事を実施する。

〔ユネスコエコパーク内対象道路〕

（主）南アルプス公園線（井川日向1、井川日向2、井川スネ沢、井川石ダル）

【事業No.33】 橋脚のある橋りょうの耐震化

平成7年に甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災において、橋脚のある橋に被害が集中したことから、平成34年度までに橋脚のある197橋の耐震化を優先的に実施する。平成27年度時点で114橋は耐震化を実施済。

〔ユネスコエコパーク内対象橋りょう〕

（主）南アルプス公園線 赤土沢橋（平成25年3月15日完成）

（主）井川湖御幸線 前川橋（平成31年度予定）

（市）上坂本線 所沢橋（平成31年度予定）

6) 地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

【事業No.22】 南アルプス周辺登山道整備事業（再掲）

【事業No.34】 千代田消防署井川出張所維持管理

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎の維持管理を行った。

【事業No.35】 山岳救助体制の充実

地域住民や来訪者の安全を確保するため、千代田消防署しずはた出張所に山岳救助隊を設置し、山間地域において事故が発生した際には、消防航空隊と連携して捜索、救出、救護を実施した。



山岳救助訓練の様子

【事業No.36】 ヘリコプター南アルプス活動拠点指定

登山者等の非常事態へ迅速に救助・救急対応をするため、登山道にヘリコプターのレスキューポイント及び着陸場の指定に係る調査等を実施した。

① 登山調査・上空調査

南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイスト等で投入できる場所を指定するため、登山調査及びヘリコプターによる上空からの調査・写真撮影を実施した。

② 資料作成・配布

南アルプス活動拠点資料を作成し、関係機関に配布及び説明を行うとともに、他機関との連携による対応を推進した。



山岳での救助活動

【組織No.11】 静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部

P 37参照

4 理念の継承と管理運営体制の構築（3つの機能を支える連携機能）

（1）国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

1）国内外への積極的な情報発信

【事業No.6】海外プロモーション事業

① 現地プロモーション

現地セミナーや商談会へ参加し、旅行エージェント等へ静岡市のPRを実施した。

[ITF台北国際旅展への出展]

出展期間：平成27年11月6日（金）～9日（月）

[TITFタイ国際旅行フェアへの出展]

出展期間：平成28年2月17日（水）～21日（日）

[パンフレット配架]

配架先：静岡県台湾事務所、ソウル事務所等

② フェイスブック、現地旅行雑誌を活用した情報発信

ブログ、フェイスブック、インスタグラム、旅行雑誌等を活用し、各現地の人目線で静岡市の魅力を発信した。

- ・韓国国内ブログ運営
- ・タイの著名人によるSNSでの情報発信

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【組織No.9】南アルプス世界自然遺産登録推進協議会（再掲）

2）国際対応

【事業No.5】静岡型体験観光推進事業（再掲）

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

3）オール静岡による意識の醸成

【事業No.15】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.16】静岡市MORIガールプロジェクト（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.17】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）（再掲）

【事業No.37】自然体験活動指導者育成講座（再掲）

【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業（再掲）

【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供
（再掲）

【事業No.42】 社会科副読本との連携（再掲）

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会（再掲）

（2）産官学民協働による管理運営体制の構築

1）南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築

【組織No.9】 南アルプス世界自然遺産登録推進協議会（再掲）

2）静岡県、川根本町等との連携体制の構築

【組織No.7】 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会（再掲）

4 関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりとなります。

【組織No.1】大井川流域振興連絡会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成27年度大井川流域振興連絡会総会	平成27年5月28日（木） 島田市民総合施設プラザ	平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画等を協議した。
大井川流域PR事業	平成27年7月1日（水）～ 11月30日（月）	・大井川流域にある史跡や旧跡を含めた観光スポット等を活用したイベント「大井川謎解探検第四幕」を実施 ※5年間継続して実施している。
大井川流域まちかど博物館推進事業	平成27年4月1日（水）～ 平成28年3月31日（木）	・まちかど博物館を活用したプログラムづくり ・「しだグリOPENカレッジ」ゼミへの参加（グリーンツーリズム協会実施） ・まちかど博物館MAP作成 ・Webページの作成
フォトコンテスト及び写真教室	平成27年4月1日（水）～ 平成28年3月31日（木）	・第20回白旗史朗大井川流域フォトコンテスト
エコツーリズム推進活動支援事業	平成27年4月1日（水）～ 平成28年3月31日（木）	・地域資源を生かしたツーリズム推進会議 ・川根本町エコツーリズムネットワーク ・南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会

【組織No.2】静岡県中央新幹線工事調整連絡会

平成27年度の開催実績なし

【組織No.3】静岡市中央新幹線整備対策本部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第2回静岡市中央新幹線整備対策本部会議	平成27年5月13日（水） 静岡庁舎8階 市長公室	・中央新幹線建設事業に係る現状共有 ・今後の対応方針
第3回静岡市中央新幹線整備対策本部会議	平成27年7月29日（火） 静岡庁舎8階 市長公室	・中央新幹線建設事業に係る静岡市からJR東海への要望について ・意見交換
第4回静岡市中央新幹線整備対策本部会議	平成27年10月30日（金） 静岡庁舎8階 市長公室	・中央新幹線建設事業に係るJR東海への要望経過

【組織No. 4】 静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第1回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成27年7月14日（火） 静岡市役所新館17階 172会議室	<ul style="list-style-type: none"> 中央新幹線建設事業の概要及び発生土置場の計画について 今後の検討について
第2回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成27年9月25日（金） 静岡市役所本館3階 第三委員会室	<ul style="list-style-type: none"> 中央新幹線建設事業における発生土置き場の計画について
第3回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	平成27年12月22日（火） 静岡市役所本館3階 第一委員会室	<ul style="list-style-type: none"> 中央新幹線建設事業における導水路トンネルの計画について

【組織No. 5】 静岡県中央新幹線環境保全連絡会議

行事・会議名	開催日時・場所	内容
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第2回水資源部会	平成27年4月14日（火） 静岡県庁本館4階 議会401会議室	<ul style="list-style-type: none"> 「第2回大井川水資源検討委員会」について
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第1回自然環境部会	平成27年4月14日（火） 静岡県庁本館4階議会401会議室	<ul style="list-style-type: none"> 「第2回大井川水資源検討委員会」の概要について 平成26年度動植物の確認調査の詳細結果について
第5回静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	平成27年11月30日（月） 静岡県庁本館4階 議会特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> 導水トンネル計画（案）について 発生土置き場計画の検討状況について
第6回静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	平成28年3月28日（月） 静岡県庁別館7階 第2会議室A	<ul style="list-style-type: none"> 発生土置き場計画について （土砂流出の数値シュミレーション、景観検討）

【組織No. 6】 南アルプス高山植物等保全対策連絡会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第1回連絡会	平成27年11月17日（火） 13:30～15:30 南アルプス市地域防災交流センター	<ul style="list-style-type: none"> 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針について 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針策定から5年間の取組状況 南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針の更新について 各組織における取組の評価について

第2回連絡会	平成28年3月4日（金） 13:00～15:00 南アルプス市地域防災交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス国立公園ニホンジカ対策方針の更新について ・平成27年度の取組と28年度計画について ・情報の共有及び議論すべき事項について
--------	---	--

【組織No.7】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成27年度理事会及び総会	平成27年4月23日（木） 10:00～ 札の辻ビル5階	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の事業報告・収支決算 ・会則の変更について ・役員の変更について ・平成27年度の事業計画（案）・収支予算（案）
井川と川根をつなぐ「いかわね新聞」第1回編集部会	平成27年5月1日（金） 13:30～16:30 静岡市林業センター	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の記事素材の意見交換について
井川と川根をつなぐ「いかわね新聞」第2回編集部会	平成27年5月26日（火） 13:30～15:30 川根本町文化会館	<ul style="list-style-type: none"> ・創刊号初案に対する意見交換について ・第2号、第3号の計画について ・今後の進め方について
井川と川根をつなぐ「いかわね新聞」発行	<ul style="list-style-type: none"> ・創刊号（7月1日号） ・第2号（11月1日号） ・第3号（3月1日号） 	地域の資源や魅力、ユネスコエコパークの理念、最新情報等を共有・発信することを目的に、新規に「いかわね新聞プロジェクト」を立上げ、第3号まで新聞を発行した。

【組織No.8】静岡市南アルプス世界自然遺産登録学術検討委員会

平成27年度の開催実績なし

【組織No.9】南アルプス世界自然遺産登録推進協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成27年度総会の開催	平成27年6月6日 静岡県男女共同参画センターあざれあ（静岡市）	平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画等を協議した。
平成27年度幹事会の開催	第1回：平成27年5月21日 静岡市林業センター（静岡市）	本会事業活動を効率的に推進するため、南アルプス地域を取り巻く課題を整理し、本会の目指すべき今後

	<p>第2回：平成27年8月31日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）</p> <p>第3回：平成28年3月16日 南アルプス市地域防災交流センター（山梨県南アルプス市）</p>	<p>の活動のあり方、ビジョン、組織体制、事業等についての議論・検討を行うため、幹事会、事務局3市会議等を開催した。</p>
平成27年度事務局3市会議の開催	<p>第1回：平成27年5月15日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）</p> <p>第2回：平成27年7月15日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）</p> <p>第3回：平成27年12月24日 早川町役場（山梨県南巨摩郡早川町）</p> <p>第4回：平成28年1月28日 伊那市創造館（長野県伊那市）</p>	
南アルプスユネスコエコパーク推進事業 〔地域連絡会議の開催〕	<p>第1回：平成27年4月23日 飯田市役所（長野県飯田市）</p> <p>第2回：平成27年5月21日 静岡市林業センター（静岡市）</p> <p>第3回：平成27年6月25日 大鹿村役場（長野県下伊那郡大鹿村）</p> <p>第4回：平成27年7月23日 白州・尾白の森名水公園べるが（山梨県北杜市）</p> <p>第5回：平成27年8月31日 南アルプス市役所（山梨県南アルプス市）</p> <p>第6回：平成27年9月24日 川根本町役場（榛原郡川根本町）</p> <p>第7回：平成27年10月30日 富士見町富士見パノラマリゾ</p>	<p>構成市町村の連携をより一層推進するため、毎月の地域連絡会議の開催や、各市町村のイベントで本会や南アルプスユネスコエコパークの活動を紹介する等、自然と共生する地域文化の発展と普及啓発を図るための事業に取り組んだ。</p> <p>平成27年度はユネスコエコパーク全体事業として、「南アルプスユネスコエコパークにおける登山道誘導標識のガイドライン」等を策定し、各市町村の相互理解と協力のもと、事業ごと3チームに分かれ、次年度以降に繋げる各事業を推進した。</p> <p>さらには管理運営計画と新たな組織体制の検討を進め、平成28年度に予定されている新組織移行への準備を進めた。</p>

	<p>ート（長野県諏訪郡富士見町）</p> <p>第8回：平成27年11月26日 韮崎市役所（山梨県韮崎市）</p> <p>第9回：平成27年12月24日 ユネスコエコパークステーション古民家カフェ鍵屋（山梨県南巨摩郡早川町）</p> <p>第10回：平成28年1月28日 伊那市創造館（長野県伊那市）</p>	
南アルプスユネスコエコパーク推進事業 [日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）への参画]	<p>(1) 第3回日本ユネスコエコパークネットワーク大会 平成27年10月6日～8日 志賀高原総合会館98他（長野県下高井郡山ノ内町）</p> <p>(2) 東アジア生物圏保存地域ネットワーク会議 平成27年10月6日～9日 志賀高原プリンスホテル他（長野県下高井郡山ノ内町）</p> <p>(3) 運営ワーキンググループ 第2回：平成27年5月25日 第3回：平成27年8月6日 第4回：平成27年8月24日 文部科学省（東京都千代田区）</p>	<p>国内登録地域をネットワーク化し、ユネスコエコパーク活動の地域間連携を促すため、これまで日本MAB計画委員会が主導してきた同ネットワークを、国内登録地域が事務局を務めるネットワークへと組織構築した。</p> <p>また、第3回日本ユネスコエコパークネットワーク大会では、東アジア生物圏保存地域ネットワーク（EABRN）会議を同時開催し、同ネットワークとの合同現地見学会やセッションを通して、ユネスコエコパークの国際的な取組を学ぶとともに、世界規模で展開されるユネスコ人間と生物圏（MAB）計画を共有した。</p>
ジオパーク推進事業	<p>(1) JGN理事会 平成27年4月22日 コレド日本橋（東京都中央区）</p> <p>(2) JGN理事会、通常総会 平成27年5月25日 ワールドビジネスガーデンマリブウエストほか（千葉県千葉市）</p> <p>(3) 地震火山こどもサマースクールin南アルプス</p>	<p>南アルプスが有する地形・地質や自然景観の見どころを全国へ広く発信するため、日本ジオパークネットワーク（JGN）の活動に参加した。</p> <p>また、世界ジオパークのユネスコプログラム化の決定を受け、構成市町村で情報共有し、3県全体でのジオパーク登録に向けた活動のあり方を検討した。</p>

	<p>平成27年 8月 8日～9日 国立信州高遠青少年自然の家 ほか（長野県伊那市）</p> <p>(4) 地質情報展2015ながの 平成27年 9月11日 長野市生涯学習センター（長野県長野市）</p> <p>(5) 第6回日本ジオパーク霧島大会 平成27年10月27日～29日 霧島市民会館ほか（鹿児島県霧島市）</p> <p>(6) 第3回日本ジオパーク中部ブロック大会 平成27年11月18日～19日 白山市立鶴来公民館ほか（石川県白山市）</p> <p>(7) ユネスコジオパーク誕生記念フォーラム 平成28年 1月23日 白山市松任学習センターほか（石川県白山市）</p> <p>(8) 第8回JGN全国研修会 平成28年 1月24日～25日 白山市松任文化会館ほか（石川県白山市）</p> <p>(9) 雪国ジオパークフォーラム 平成28年 2月12日 湯沢ロイヤルホテルほか（秋田県湯沢市）</p>	
2015新宿御苑みどりフェスタへの参加	平成27年 4月29日 国民公園「新宿御苑」（東京都新宿区）	構成10市町村担当者が一同に会し、南アルプスの素晴らしい自然や本会の事業活動を広く周知した。

【組織No.10】 オクシズ在来作物連絡協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第1回連絡協議会	平成27年6月10日 14:00～ 静岡市林業センター研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選任 ・平成27年度の事業計画（案） ・オクシズ在来作物ロゴマークの決定 ・オクシズ在来作物ロゴマークの使用許可（ちゅるりん麺） ・情報交換

【組織No.11】 静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
平成27年度静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部総会	平成27年5月29日（金） 14時～ 静岡市林業センター会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告及び収支決算について ・平成27年度事業計画及び収支予算について ・山岳遭難事故発生時連絡網等について 他
「南アルプス登山観光情報」の作成	平成27年7月	南アルプスの登山ルート、注意事項、山小屋一覧等を掲載した「南アルプス登山観光情報」を作成した。
春山登山相談所の開設	平成27年4月29日（水）～5月6日（水） 沼平登山指導センター	登山届の提出指導及び受付、コース・装備の指導、気象・交通状況の案内、遭難事故防止の呼びかけ等
夏山登山相談所の開設	平成27年7月11日（土）～8月30日（水） 畑薙第一ダム夏季臨時駐車場	春山登山相談所の開設に同じ
冬山登山相談所の開設	平成27年12月26日（土）から平成28年1月3日（日）	春山登山相談所の開設に同じ

5 モニタリング実施状況

平成27年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

(1) モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	項目	
生活環境	大気質の状況	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、風向・風速外（環境保全課）
	騒音・振動の状況	自動車交通騒音、道路交通振動（環境保全課）
	水質の状況	水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、カドミウム、鉛外（環境保健研究所）
自然環境	動植物の状況	哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、魚類、昆虫類、底生動物、植物（環境創造課）
	植生の状況	毎木調査、樹木マッピング（環境創造課）
	景観の状況	眺望点調査、道路景観調査（環境創造課）
	希少種の生息・生育状況	ライチョウの生息状況把握調査（環境創造課）
調査・教育	環境教育・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数（井川自然の家） ・静岡県「県民の森」利用者数（静岡県くらし・環境部環境局/環境ふれあい課）
	伝統文化等の保存状況	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化等の保存状況[県指定文化財、市指定文化財]（文化財課） ・在来作物調査（文化財課）
社会状況	観光振興の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・井川地区内・施設入込客数（中山間地振興課外） ・主要施設利用者数（中山間地振興課） ・交通機関利用者数（井川支所、交通政策課外）
	産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	地域を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・井川地区の人口及び世帯数 ・井川地区の高齢化率 ・静岡市立井川小学校・中学校 児童・生徒数（教育総務課）

(2) モニタリングの概要

1) 大気質調査

① 調査項目

二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、風向・風速外

② 調査地点及び時期

井川支所（5月、8月、11月）、二軒小屋（7月、8月）、玉川地区（8月）

③ 調査結果

環境基準値や静岡市内の大気汚染常時監視測定局等との比較により、調査地点の大気汚染は少ないことが確認された。



2) 騒音・振動調査

① 調査項目

自動車交通騒音、道路交通振動

② 調査地点（時期）

井川地区：南アルプス公園線（12月）

玉川地区：井川湖御幸線（12月）

③ 調査結果

幹線交通の騒音・振動の現況を確認した。



3) 水質調査

① 調査項目

水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、カドミウム、鉛外

② 調査地点及び時期

大井川本流ボッチ薙付近、東俣川二軒小屋付近、西俣川二軒小屋付近、燕（つばくろ）沢付近（5月、7月、9月、11月）

③ 調査結果

水質基準値や市内河川の水質データとの比較により、調査地点は良好な水質であることが確認された。



4) 動植物調査

① 調査項目

哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、魚類、昆虫類、底生動物、植物

② 調査領域

中央新幹線建設事業に伴い改変が予想される地域



③ 調査結果

全体で重要な種54種を確認した。その内、中央新幹線環境影響評価手続きの現地調査では確認されなかった12種を確認した（哺乳類1種、魚類1種、昆虫類4種、植物6種）。



チチブコウモリ



ヒダサンショウウオ



クモマツマキチョウ



タチキランソウ

5) 植生調査

① 調査項目

毎木調査、樹木マッピング

② 調査領域

西俣柳島の低位段丘面

③ 調査結果

南アルプスの谷部では代表的な常緑針葉樹林及び落葉広葉樹林の構成を確認することができ、工事に伴い改変された場所を再生する際の指標再生植生として有効なデータを得ることができた。



6) 景観調査

① 調査項目

眺望点調査、道路景観調査

② 調査領域

土地改変区域のよく見える箇所、林道東俣線の起点から終点まで

③ 調査結果

地理情報システムソフトウェアを用いて、主な土地改変区域が視界に入る可能性のある眺望点を算出し、そこからの工事着工前の景観を記録した。

また、林道東俣線の起点から終点において、登山者の歩行の視点で1kmに約10枚程度（合計272地点）の工事着工前の景観を記録した。



7) ライチョウの生息状況把握調査

① 調査内容

目視調査、痕跡調査、生息環境圧迫要因調査

② 調査場所

南アルプス南部（聖岳、茶臼岳、イザルガ岳等）

③ 調査時期

5～10月

④ 調査結果

〔目視調査、痕跡調査〕

例年と同様、分布南限地域でのなわばり数は3なわばりと推定された。

また、南限とされるイザルガ岳では今年も繁殖が見られず、非繁殖は5年連続となった。

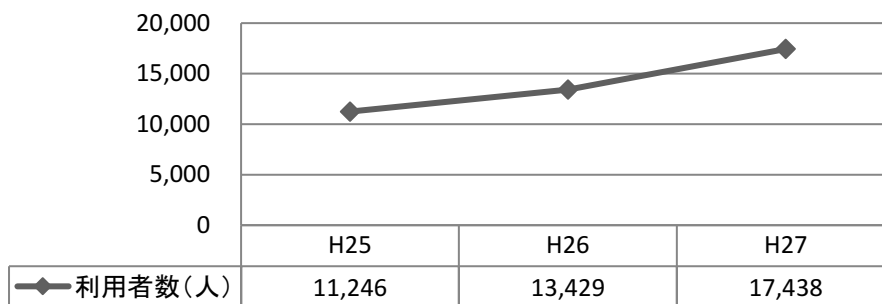
〔生息環境圧迫要因調査〕

ライチョウ捕食者とされる哺乳類では、3種（キツネ、テン、サル）が確認された。ライチョウ捕食者とされる鳥類では、2種（チョウゲンボウ、ハシブトガラス）が確認された。

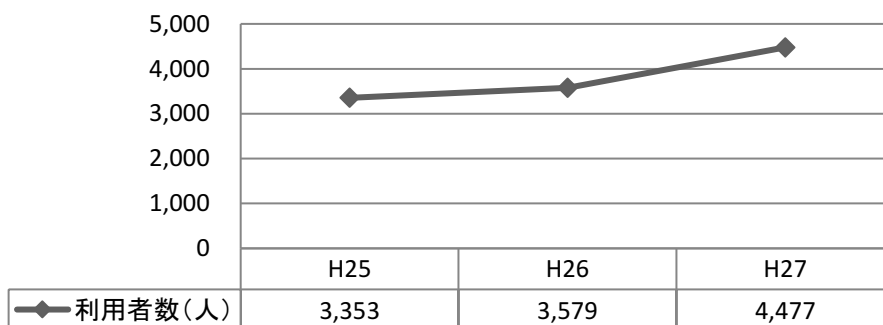
いずれも、捕食行動や形跡は目撃・確認されなかった。

8) 環境教育・学習の状況

① 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



② 静岡県「県民の森」利用者数



9) 伝統文化等の保存状況

① 県指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像 ほか3 軀附1 軀	H17. 11. 29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17. 11. 29	葵区田代	諏訪神社氏子会

② 市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の間造りの 民家	H11. 6. 21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸	鰐口	H20. 3. 26	葵区井川	中野観音堂

③ 在来作物調査

ア) 調査内容

専門家による調査：地域で長年に渉り雑穀の栽培を続けている生産者から、栽培技術、加工方法、販路等の聞き取り調査を行った。

イ) 調査場所

井川地区

ウ) 調査時期

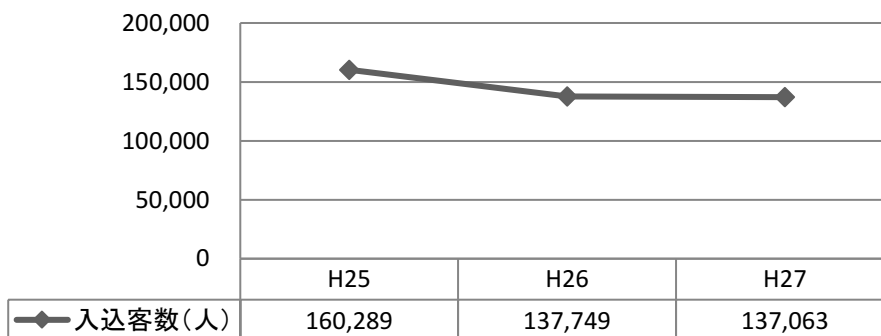
平成27年9月5日(土)、6日(日)、23日(水・祝)

エ) 調査結果

作物の栽培：かつて生産者が0となり、静岡大学農学部の協力により復活した作物(ケビエ)については、安定的な栽培を実践していることが確認された。

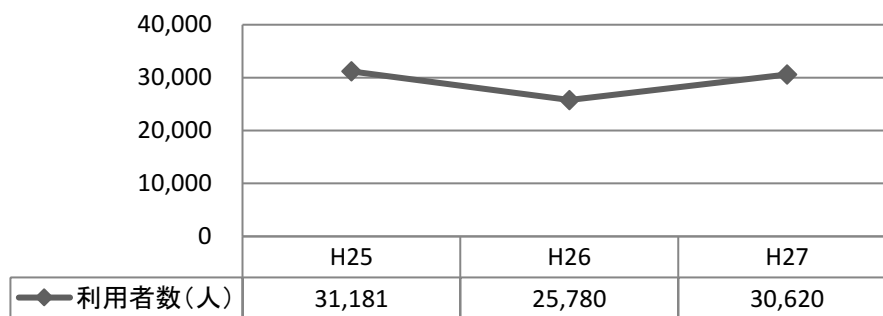
10) 観光振興等の状況

① 井川地区内・施設入込客数

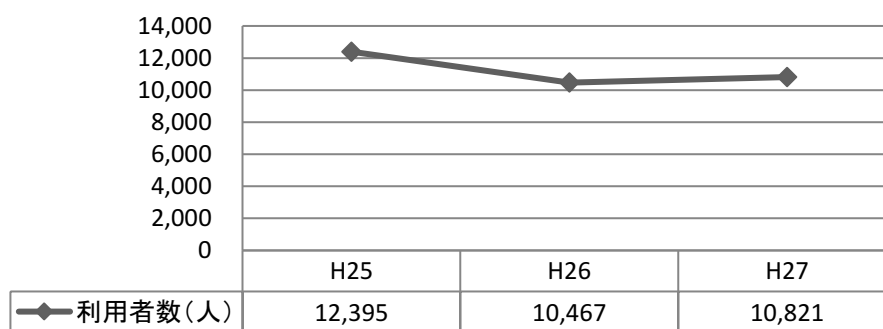


② 主要施設等利用者数

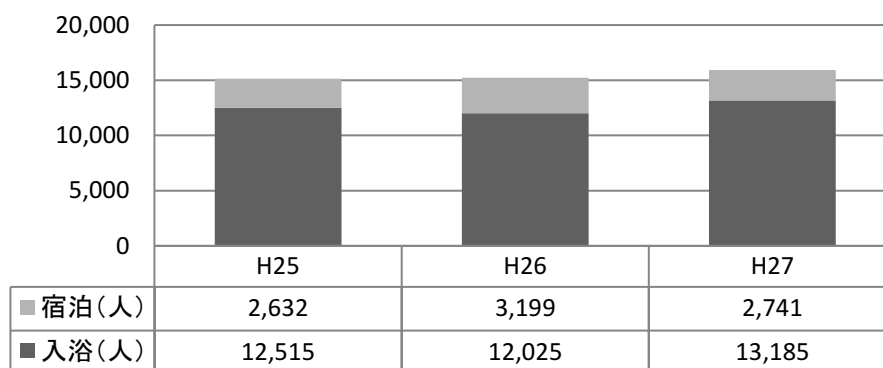
ア) ロッジ、山小屋等利用者数



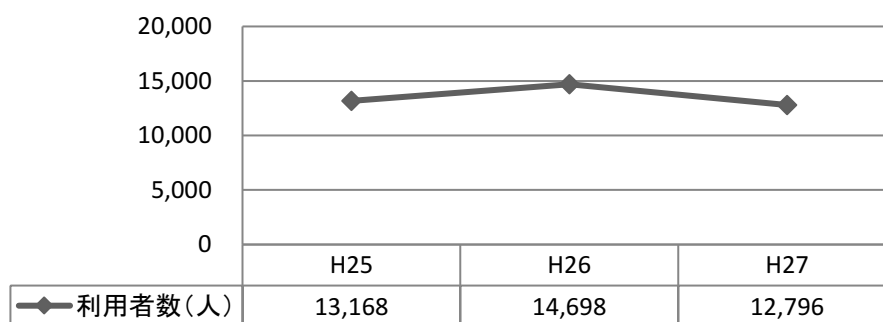
イ) 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



ウ) 南アルプス赤石温泉「白樺荘」利用者数

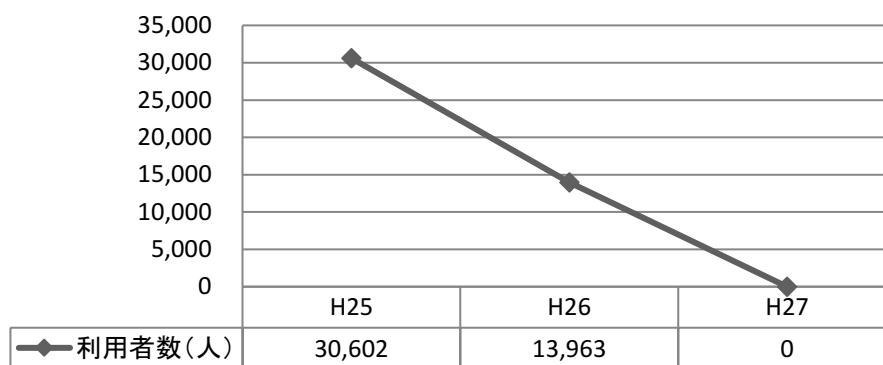


エ) リバウエル井川スキー場利用者数



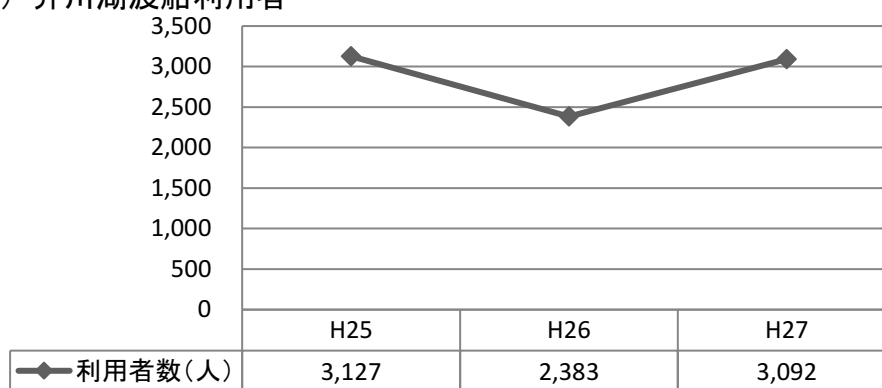
③ 交通機関利用者数

ア) 大井川鉄道井川線（井川駅）利用者数

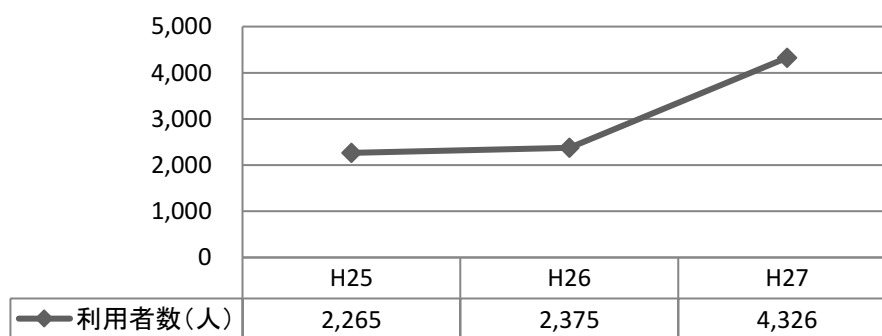


※井川線(接岨峡温泉駅ー井川駅間)は、平成26年9月2日に発生した崩土により運休中

イ) 井川湖渡船利用者

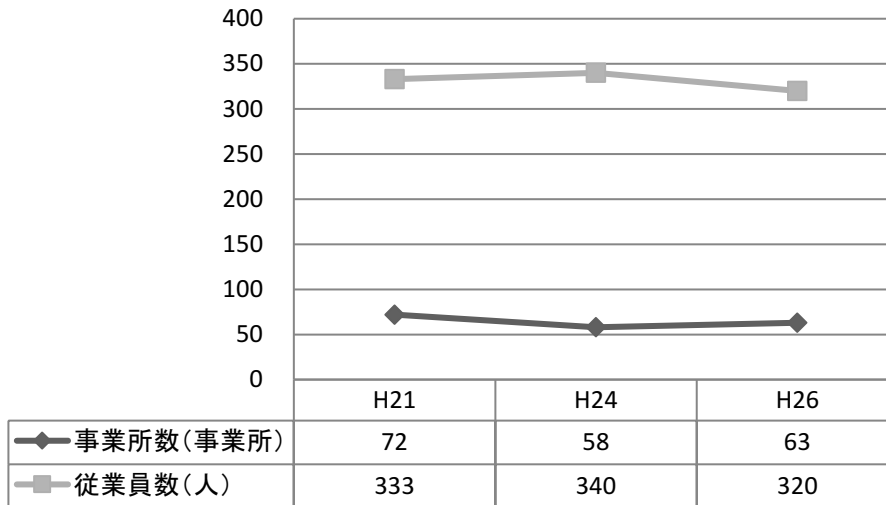


ウ) 井川地区自主運行バス利用者数



11) 産業振興の状況

① 井川地区事業所数及び従業員数

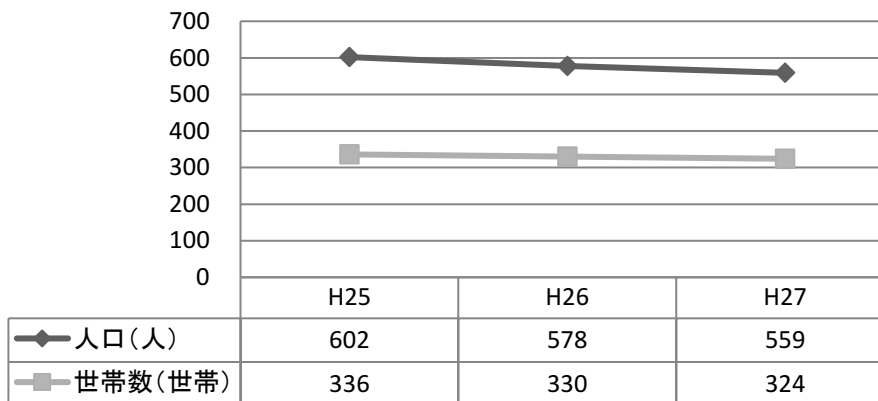


※H21、H26：経済センサス基礎調査（各年7月1日現在）

H24：経済センサス活動調査（平成24年2月1日現在）

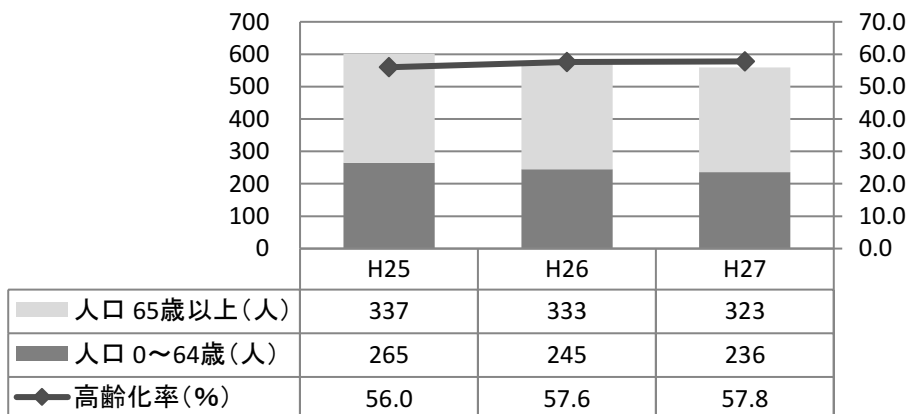
12) 地域を取り巻く環境

① 井川地区の人口及び世帯数



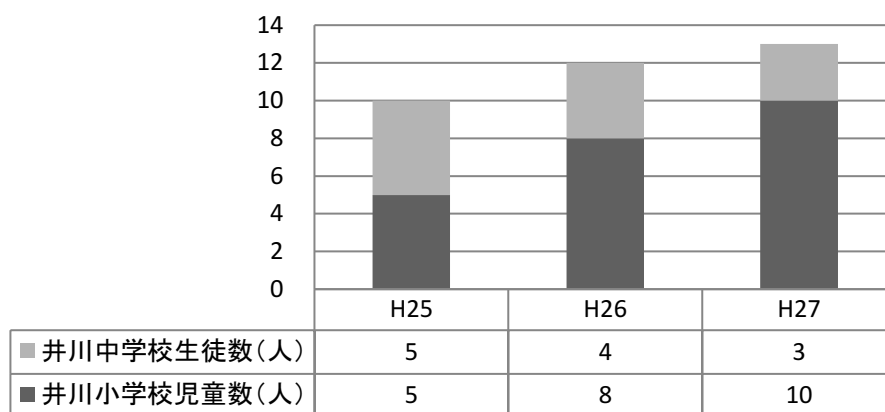
※各年9月30日現在

② 井川地区の高齢化率



※各年9月30日現在

② 静岡市立井川小学校・中学校 児童・生徒数



※各年5月1日現在

6 実行計画 総合分析

静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業の推進にあたり、関係局等の連携の確保及び総合的な調整を行うため、静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業統括会議を設置しています。同会議の関係局が所管している事業について、各局が平成27年度の取組を分析し、それを総合的に分析した結果（課題の抽出とその改善策・今後の方向性）を示します。

平成 27 年度の取組	P 3～30「平成 27 年度の取組内容」のとおり
-------------	---------------------------

評価指標の状況	<p>平成 27 年度に実行計画を策定したため、評価指標の基準年度は、10 項目のうち 8 項目が平成 27 年度となっており、2 項目が 25 年度となっている。</p> <p>基準年度が 25 年度の 2 項目のうち、1 項目が目標（30 年度）を達成し、1 項目が達成していない状況である。</p> <p>詳細は、P 2「評価指標の状況」のとおり</p>
---------	--

基本方針の柱	計画の実行に係る課題	改善策・今後の方向性
1 自然環境の保全	<p>① 中央新幹線建設工事の実施に伴い、自然環境や地域住民への影響が懸念されている。</p> <p>② 南アルプスの自然の象徴である高山植物と、そこに生息する特徴的な希少種であるライチョウの保護を拡大するために、市民が参加できる施策の展開が必要である。</p> <p>③ 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の適正な運用が必要である。</p>	<p>① 継続調査が必要なものについては、モニタリングを行い、工事最盛期を中心に再度環境調査を実施する。これらの環境調査の結果をもとに、必要に応じて事業者に対し、指導・要望等を行う。</p> <p>② 市内高等学校登山部を対象とした「高山植物保護セミナー」を継続的に実施するとともに、登山者自らがライチョウの分布調査等に協力できるライチョウサポーター制度を創設する。</p> <p>③ 継続的な条例の普及啓発、林道パトロール及び林道東俣線のゲート管理を実施する。</p>
2 調査と教育	<p>① 教育の拠点となる井川ビジターセンターのニーズに対応できる機能拡充や井川自然の家の PR が必要である。</p> <p>② 関係局が実施している体験プログラムやガイド事業等の充実が必要である。</p>	<p>① 井川地域おこし協力隊や地元関係団体等と連携し、様々な情報を収集・発信するとともに、東京事務所、県外団体、県外大商談会等での PR 活動を行う。</p> <p>② 井川自然の家主催事業の充実や南アルプス・井川エコツーリズム推進協議会との連携強化により井川地域での体験プログラムの充実を図る。</p>

<p>3 地域の持続的な発展</p>	<p>① 井川湖渡船・遊歩道への誘客、旅行会社・旅行者のニーズに即した観光商品の充実が必要である。</p> <p>② 井川ブランドの確立を図るため、井川地域を含む南アルプスが地域住民のものだけでなく、静岡市民全体の財産だという意識醸成を行うとともに、井川地域のブランディングを行う人材を育成する必要がある。</p> <p>③ 工事に伴う交通規制が、登山・観光シーズンや降雪期を避けて行う必要があり、地元調整、事業周知等が課題となる。</p> <p>④ 千代田消防署しずはた出張所山岳救助隊との連携の強化や南アルプスの森林限界以下登山道における活動拠点の整備が必要である。</p>	<p>① ニーズに合わせた渡船の航路、乗船時間の再検討や充実させるべき観光商品の分析を行い、それらのプロモーションに重点的に取り組む。</p> <p>② 井川地域おこし協力隊の配置、ビジネス展開支援制度等を活用し、地域に不足する人材・能力の支援を行い、行政・井川地域との連携体制の強化を図る。普及啓発や市内内外への情報発信を行う。</p> <p>③ 補修設計時から工事工程日数を算出し、限られた工期内に竣工できるように事業調整を図るとともに、静岡市道路通行規制情報「しずみち Info」ほか各種 HP 等の情報発信ツールを今まで以上に活用する。</p> <p>④ 山岳救助訓練を定期的に行い、技術向上に努めるとともに、活動拠点の調査を定期的に行い、地権者に対し、可能な範囲で活動拠点の整備、また新規整備について要請する。</p>
<p>4 理念の継承と管理運営体制の構築</p>	<p>① 市場の動向や旅行会社・旅行者のニーズに即した体験プログラムなどの観光商品の充実を図り、効果的にプロモーションを展開する必要がある。</p> <p>② 海外への情報発信ツールや国際対応が不足している。</p>	<p>① 現地での説明会や教育旅行の受入等の際し、ニーズや満足度を聴取し、充実させるべき観光商品を分析し、それらのプロモーションに重点的に取り組む。</p> <p>② 多言語化パンフレットを拡充するとともに、南アルプスプロモーションビデオ（英語、韓国語、中国語版）を活用し、海外への情報発信を図る。</p>

(参考) 各事業の平成27年度事業計画及び実施結果

No.	事業名	基本方針の柱	平成27年度事業計画	事業実施結果	所管課	頁
1	移住希望者向け情報発信事業	3	・移住支援センター開設 ・移住相談会開催 ・HP構築、運営 ・パンフレット作成、配布	計画どおり実施	企画課	18
2	井川湖渡船運航業務	3	・渡船運行 ・関係施設の維持管理	計画どおり実施	井川支所	26
3	井川湖畔遊歩道草刈業務 (遊歩道維持管理業務)		・遊歩道維持管理 (除草作業：3回/年、 作業面積：2,700㎡/年)	計画どおり実施	井川支所	24
4	葵区魅力づくり事業 ー地域住民の自立促進事業ー	3	・地域住民との打ち合わせ ・事業の協働実施	計画どおり実施	葵区役所 地域総務課	16
5	静岡型体験観光推進事業	2, 3, 4	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発	計画どおり実施	MICE・国際課	12
6	海外プロモーション事業	4	・現地プロモーション ・情報発信	計画どおり実施	MICE・国際課	29
7	井川地域における食文化調査事業	2, 3	・現地調査	計画どおり実施	文化財課	14
8	井川地域の雑穀文化保存活用事業	2, 3	・交流事業の実施	計画どおり実施	文化財課	14
9	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業	3	・まちづくりモデルの策定	計画どおり実施	環境創造課	21
10	南アルプス環境調査	1	・工事前現況把握調査	計画どおり実施	環境創造課	6
11	静岡市森林環境アドプト事業	3	・井川地域における森林整備計画の検討、準備	計画どおり実施	環境創造課	21
12	静岡市次世代エネルギーパーク	2	・普及啓発、活用推進	計画どおり実施	環境創造課	13
13	高山植物保護事業	1, 2	・防鹿柵設置、維持管理 ・担い手育成(高山植物保護セミナー開催)	計画どおり実施	環境創造課	4
14	ライチョウ保護事業	1, 2	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施	計画どおり実施	環境創造課	5
15	普及啓発事業	3, 4	・構成市町村連携による情報発信 ・市内、県内における情報発信 ・海外への情報発信	計画どおり実施	環境創造課	19
16	静岡市MORI ガールプロジェクト	3, 4	・HP構築 ・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・イメージソング作成、活用	計画どおり実施	環境創造課	17
17	南アルプス教育推進支援事業	2, 4	・教育教材の作成	計画どおり実施	環境創造課	8
18	静岡市南アルプスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	1	・市HPへの掲載 ・標識の付替え	計画どおり実施	治山林道課	3
19	南アルプスコエコパーク地域内林道の管理	1, 3	・林道管理 ・ゲート管理	計画どおり実施	治山林道課	7
20	南アルプスコエコパーク井川ビジターセンターの整備・活用	2, 3	・施設改修	計画どおり実施	中山間地振興課	13
21	南アルプスコエコパークガイド養成事業	2, 3	・ガイド養成講座 ・モデルコース作成 ・パンフレット作成	計画どおり実施	中山間地振興課	8

22	南アルプス周辺登山道整備事業	3	・吊り橋地質調査・測量等 ・新規登山道調査 ・登山道修繕	計画どおり実施（吊り橋測量業務については28年度も継続）	中山間地振興課	18
23	中山間地移住促進事業	3	・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援	計画どおり実施	中山間地振興課	23
24	野生鳥獣被害対策事業	3	・農林業者等への助成 ・有害鳥獣捕獲等	計画どおり実施	中山間地振興課	22
25	オクシズ在来作物活用事業	3	・普及啓発	計画どおり実施	中山間地振興課	16
26	地域おこし協力隊配置事業	3	・協力隊募集 ・協力隊用住宅修繕 ・3名配置（井川地域）	・協力隊募集 ・協力隊用住宅修繕 ・2名配置	中山間地振興課	16
27	おらんとこのこれ一番事業	3	・地域の活動支援	計画どおり実施	中山間地振興課	17
28	林業担い手育成対策事業	3	・補助金等の交付	計画どおり実施	中山間地振興課	22
29	井川地区自主運行バス運行事業	3	・自主運行バスの運行（365日稼働）	計画どおり実施	交通政策課	26
30	静岡市道路休憩施設	3	・広報活動 ・オクシズドライブマップリニューアル	計画どおり実施	道路計画課	24
31	道路トンネル補修事業	3	—	・定期点検 ・補修工事（繰越）	道路保全課	27
32	道路自然災害防除事業（法面）	3	・測量、設計 ・用地測量 ・用地買収、補償	事業実績なし	道路保全課	27
33	橋脚のある橋りょうの耐震化	3	—	事業実績なし	道路保全課	27
34	千代田消防署井川出張所維持管理	3	・消防体制の維持	計画どおり実施	消防総務課	27
35	山岳救助体制の充実	3	・山岳救助体制の充実	計画どおり実施	消防総務課	28
36	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定	3	・登山調査及び上空調査 ・活動拠点資料作成及び配布	計画どおり実施	航空課	28
37	自然体験活動指導者育成講座	2, 4	・指導者育成	計画どおり実施	教育総務課	9
38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	2, 3, 4	・主催事業の実施	計画どおり実施	教育総務課	9
39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供	2, 4	・自然体験活動の提供	計画どおり実施	教育総務課	11
40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、PR活動	2, 3	・PR活動の実施	計画どおり実施	教育総務課	12
41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家、多目的ホール改修事業	2, 3	・施設改修	計画どおり実施	教育総務課	14
42	社会科副読本との連携	2, 4	・副読本の改訂、配布	計画どおり実施	学校教育課	12

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）
実行計画 年次報告書（平成 27 年度）

発行年月 平成 28 年 10 月

発 行 静岡市環境局環境創造課
静岡市葵区追手町 5 番 1 号

電話 054-221-1357 FAX 054-221-1492

E-mail kankyousouzou@city.shizuoka.lg.jp

URL http://www.city.shizuoka.jp/000_000166.html